



潜勢より表現へ

社長 川崎文治

大行天皇の崩御は國民をして悲愁のどん底に爲す處を知らしめず天日開しの思ひに涙の數時日は茲に過ぎて海上風靜かなる彼方より昭和二年は楚々として訪れ來つた、吾人は茲に改まるる年を迎えて力強き新興勢力の發現に努めねばならぬ事を涙のうちに痛切に思ふものである、そして夫れが神去りませし天靈を休んじ奉る御奉公の一端とも申すべきであらう。日本の中心として國民景仰の中心とならせ給ふ今上陛下にはいよゝ御健勝に亘らせられ、あらゆる方面にわたり青年日本の統率指導につとめ給ふは申すに及ばず踐祚後朝見の儀を行はせらるるに當つての御勅語は吾人をして國運の將來に一層の心強さを與ふるものである。潜勢より表現へ……吾人は協力一致共存共榮の誠をいたして共に振ひ起ち、共に働かねばならぬ、徒らに涙ある事のみを知つて消極退嬰を是れ事とするは御聖旨に添ふ所以ではない、大いに健闘すべき多量なる昭和二年！然もけふ其元朝！働かねばならぬ吾人がその身心に果して用意を全し得たるか如何を顧みて嚴かに一年の計を樹立するべきであらう。

九一前金貳拾一元
一ヶ月計料一元二角
三ヶ月計料三元五角
半年計料六元五角
一年計料十二元
印刷費別
發行所 常盤毎日新聞社
電話六三〇番

號刷初日一月一

諒閣中年末年始欠禮

藤沼醫院
電話五〇七番

福島縣農工銀行頭取

白井博之

諒閣中年末年始欠禮

合造鹽屋
山崎合名會社
福島縣平町土橋
電話 營業部 一〇番
醸造工場 二七番

石城郡選出議員

井上茂作 (平町)	小野晋平 (小名濱町)	大平睦四郎 (勿來町)	草野順平 (平町)	木村清治 (大浦村)	古川傳一 (植田町)
-----------	-------------	-------------	-----------	------------	------------

和料銅鐵 金物問屋
久釜屋商店
平町五丁目
電話 園九番 一三九番

石城郡山田村

安島重三郎

東京海上火災保險株式會社代理店

阿部政右衛門

植田水力電氣株式會社
社長 金成通

警城銀行專務

白井一郎

平町白銀町

高橋龜松

平町二丁目

關内正一

平町久保町

永山和平

石城郡平町字材木町

草野順平

警城セメント株式會社

萬年瓦工業株式會社

四倉運送倉庫株式會社

四倉電氣株式會社

四倉銀行

警城銀行出張所

石城郡平窪村

松本徳一

平町二丁目

西村屋藥局
電話 園三番

帝國キネマ直營
マキノノ上映

主任 小島三正
説明者 丸山東朝
全 富岡春誠
全 町田秀章
全 近藤藤遊
全 林原錦陵
全 大石恭
全 明石同
全 外澤石松
全 梅澤治郎
全 北郷竹治郎
音樂部 有聲座

有聲座
電話 四四六番

平町二丁目
電話 三三〇番
電話 三七七番

堅實な正道を 踏めば財界好轉

諒閣中の經濟觀

白井警銀專務談

昨年の我經濟界は一概には全く結婚時期たるの觀を
れをいふときは沈靜であつた。呈し平町にもこの程頻々
た、爲替の騰貴は一面我國して三々九度のお目出度
の信用並に實力の高まりた行はれてゐるが大行天皇の
ることを

物語る

もその反面
柄一旦纏めた絶好の縁を切
離すわけにもゆかず双方の
準備萬端も既にこのひ過
ぎてゐること、取止め
るわけにもゆかず双方の親
と媒介者位の小人數で結び
の益を取交し一般親戚關係
者には折詰を配る程度の形
ばかりの祝言を爲してゐる
ものが多い

前途に

一縷の光明
を認め得るに充分になつた
しかし諒閣となり國民舉げ
て悲痛の涙に暮て一層財界
をして沈靜ならしめたるも
徒らに萎縮することなく堅
實に一歩々々財界の正道を
踏んで進むならば期せずし
て財界は發展し好況をみる
に至るだらう(警城銀行專
務白井一郎氏談)

三々九度で 婚禮を済す

一般の傾向

冬季は農家の閑散期である
ため古來より娘、伴の結婚
とこの季節に行ふこととなり
何時かそれが都會にも波及
して十二、一、二の三ヶ月
ころの愛戀な色彩が用ひら
るゝに至つた今春このみの
流行として稱せられてゐた
色は「さえたブドウ」「茶か
つた朱」「青味勝ちのグ
リ」等で、すでにデパ
トあたりでは産地の

憂鬱な彩色な新春 好春新が彩色な憂鬱

新春の流行界
に最も注目す
べきは聖上崩
御のことから
一大轉換期に
達着したと
である毎年各
大呉服店にお
いて創定さ
るところの流
行の色はた
に全部葬られ
あらたに諒閣
を意味する

染織も

この方面にせしめた黄金時代を現出
力を入れ澤山の仕入れをしたのであつたが實に黒は悲
たこと、餘程打撃もあるしみの色であるが、好況時
らしく流行をおふ事に餘念代の色である、今回の諒閣
のないモダンカラーや、は不景氣に沈りしなから
粹このみの藝者衆などは新なる反對に國の華奢が増長
春のはれ着にあつらへ仕立してはばいし流行多岐
なもので間に合ふ状態と多様な紋様模様の簇出の過
なつたのである、かつて明渡時代なのであるが或ひは
治天皇

崩御の

際は華美に
なりかけた國民の鼻ツ柱を
いやといふ程黒い重いくす
んだもので叩いたのであつ
たが、それが漸次眞實の意
味の流行色を蘇生する動機
となつて戰況時代にまで引
續きつひに財界の黄金時代
「流行の極致は黒色なり」と
成金輩をして豪語でゆくのであらう

新年の娛樂を 遠慮して讀書に

書店は大當り

而し日記類打撃を蒙る

「買行はよい方です、昨樂雜誌でもケバくした表
年にくらべて二割位の増加装で大きい買り出さうと
ですなア」と清光堂やその他の雑誌類は餘り賣れないで
分店それからマルトモ其他の雑誌類は餘り賣れないで
の各書店は口をそろえて景キングや講談俱樂部、苦樂
氣のいゝとをいふ、不景氣などが盛んに賣れ、特に崩
で愚痴たらたの商人に聞御後はいつもあまり賣行の
かせたら頭の二つ位ならぬい學術専門
れさうな話ではあるがこの
裏面には人々の心にせめて
諒閣中他の娛樂を遠慮して
靜かに讀書しようとする傾
向のあることが大いに
影響して、ゐるやう
打撃を蒙つてゐるさうで、
大江戸の昔を偲ぶ梯子乗り
である、といふのは同じ娯
各書店にうづ高く積まれて

小包も減少

平局と新年

平郵便局に於ては去る廿六
日を以つて年賀郵便の特別
取扱を停止したが同日迄の
引受数は六千三百八十九通
にて昨年の十一萬五千九百
四十九通に比較し九割四分
減を示した配達数は七千
八百廿一通にて昨年の十八
萬二千二百六十八通に較べ
九割五歩減それから小包は
卅日迄の引受數千廿二個で
昨年の千卅七個に比し一歩
減、配達数は二千七十九個
にて昨年の二千二百一個に
比し五歩減である

お天気續く

小名測候所談

諒閣中の正月のお天気につ
いて小名測候所の觀測に
よると一日頃から四、五日
までは大体に於て平靜な天
氣が持ちつづけるらしい、
舊臘中の一ばん寒かつたの
は廿七日朝の零點下五度四
分で之れが昨年中の記録で
ある、何れ毎年の極寒は一
月中旬から二月中旬にかけ
ての事で寒さはまだく來
るものと思はねばなるまい

取をやめて

専ら謹慎

平消防組では恒例により
毎年一月四日出初式を行ひ
大江戸の昔を偲ぶ梯子乗り
その他の放れ業や水勢試験
を以て御願ひ申上候
昭和二年一月一日
警城時報社
警城毎日新聞社
警城新聞社

諒閣中年末年始欠禮

平町北白銀町
山崎喜正
電話三六二番
電話(サト)

西洋料理
カフエー
ステーチ
平驛前

平町田町
大崎洋服店
電話七二三番

平町一丁目
坂本紙店
電話一八番

石城郡四倉町長
杉原新吾

平町二丁目
遠藤帽子店

平町新川町
佐藤福太郎
電話三三五番

材木商
佐藤藤助

平町四丁目
伊勢屋商店
電話四五番

福島縣平町月見町
佐藤鐵工所販賣部
電話三六二番
電話(サト)

倉庫鐵扉門各種
建築諸金物製作業
吉野喜十
平町鍛冶町五

活動
常設
平館
松田卯次郎
電話四六六番

平町青物商組合
會長森商店(長橋町)
副會長高木屋商店(三丁目)
會計 新妻商店(古鍛冶)
役員小川屋商店(極越小路)
袋屋商店(四丁目)
石屋商店(紺屋町)
大方商店(胡摩澤)
高子商店(長橋町)
扇屋商店(長橋町)
宗津商店(長橋町)
春木屋(研町)
清水屋(紺屋町)
阿部商店(紺屋町)
中島商店(古鍛冶)
桑原商店(古鍛冶)
藤井商店(驛前)
谷津商店(胡摩澤)
高田商店(極越小路)

福島縣石城郡平町白銀町
釜清商店
電話三二九番

平町實費病院長
池田次郎

哺乳器各種製作發賣
度量衡器計量器販賣
東京市本所區北二葉町二番地
岡田大助商店
電話墨田五〇四二
振替東京五一〇三七

株式組織ニシテ相互會社ヲ兼有スル
特長アル
横濱生命保險株式會社
平代理店
中野甲藏
契約者ニハ初年度ヨリ利益ノ配當ヲナス

平町砂糖商同業組合
警城實業銀行專務
鈴木辰三郎

元代議士
高岡唯一郎

哺乳器各種製作發賣
度量衡器計量器販賣
岡田大助商店
電話墨田五〇四二
振替東京五一〇三七

株式組織ニシテ相互會社ヲ兼有スル
特長アル
橫濱生命保險株式會社
平代理店
中野甲藏
契約者ニハ初年度ヨリ利益ノ配當ヲナス

平町砂糖商同業組合
鈴木辰三郎
警城實業銀行專務

高岡唯一郎
元代議士

伊勢屋商店
電話四五番

釜清商店
電話三二九番
池田次郎
平町實費病院長

諒闇中年末年始欠禮

警城平町二丁目
和洋銅鐵
坂田藤助
電話一七八番

平町公園下通
京屋洋服店

警城平町二丁目廿九番地
清光堂書店
電話一三一三番
振替東京五三八八番

平藝妓屋組合
三橋竹二山久三甲谷玉
島之葉形好
家亭家家家家子口川
榮野米富林品福仲湖開吉
家口京家家澤清家家月花家

警城平町久保町
會川延太郎
警城平町久保町
會川延太郎

平町長橋町
小野園次郎

石城郡第三區
小學校長會

常警線平町三丁目
時計洋品商
大谷時計店
電話一八九番

福島縣石城郡平町
磐城建物株式會社
電話五一八番

平町
料理屋組合

警城平町字新町
岡部織物店

平驛前
平運輸株式會社

平町搔槌小路
乾書店
電話三一五番

平町五丁目
山野邊藥局
藥劑師 山野邊東太郎

平町長
伏見彦衛

平町四丁目
河西八十治

警城國平町一丁目
和和久井屋
漆器店
電話四〇五番

警城平町四丁目
マツモトヤ
電話二二四番

警城平町四丁目
關内藥舖
藥劑師 關内榮助
電話四〇番(電話七キ)
振替仙台六三二六番

警城平町月見町
小野屋藥店
電話一四四番

福島縣石城郡平町三丁目
三十番地
株式會社星製藥警城配給所
專務取締役
駒木根忠三

福島縣平町字鍛冶町二〇
電氣ト機械
平電業商會

警城平町木町八番地
各種油販賣
椚田榮太郎
電話(二四八)電話(クシ)又(ハク)

平町二丁目
森下商店
まゆや號

警城平町二丁目
藤市
電話三五五番

平町五丁目
貴金屬時計
金光堂時計店
電話七三六番

中山白土小泉岩石材販賣所
土木建築請負
喜多林之助
福助足袋會社代理店
アサヒヒビ會社代理店

平町
理髮業組合

福島縣平町三丁目
山本屋旅館
電話二十八番

福島縣平町搔槌小路二四
鑄製造業
ヤスリ販賣
中屋長三郎
綠川喜三郎
振替仙台三三六〇三番

平町南町川岸通り
御料理
玉よし
電話四二六番

警城平町二丁目
住吉屋分店
酒井伴城

紺屋町
扇屋柳助

古鍛冶町九一
神谷染物店

石城郡飯野村
山崎吉平

石城郡平町鎌田
草野染工場
電話三四八番

平町搔槌小路
平出張所
門傳清吾

平町田町
株式現物賣買
駒場四郎商店
電話四六五番

平町二丁目
大屋商店
電話一三番

平町長橋町
酒類 柏木支店
電話二四三番

平町南町四九
鈴木染工場

平町南町公會堂前
青木寫真館
電話四二二番

福島縣石城郡平町白銀町六
二本松電氣株式會社

平町搔槌小路
辯護士
門傳清吾

平町四丁目
株式 百澤商店
電話一二番

警城平町二丁目
大屋商店
電話一三番

警城平町四丁目
大屋商店
電話一三番

警城平町四丁目
色川勝三郎商店
電話三四一四番
電話(イロカワ)又(イロ)

警城平町四丁目
各種提灯商
スガノヤ提灯店
電話七二二番

平町南町公會堂前
青木寫真館
電話四二二番

福島縣石城郡平町白銀町六
二本松電氣株式會社

平町搔槌小路
辯護士
門傳清吾

平町四丁目
株式 百澤商店
電話一二番

警城平町二丁目
大屋商店
電話一三番

警城平町四丁目
大屋商店
電話一三番

警城平町四丁目
色川勝三郎商店
電話三四一四番
電話(イロカワ)又(イロ)

警城平町四丁目
各種提灯商
スガノヤ提灯店
電話七二二番

何時かそれが都會にも波及しン等、すでにデパート
して十二、一、二の三ヶ月トあたりでは産地の
影響して、あるやう打撃を蒙つてゐるさうで、大江戸の昔を思ふ梯子乗り
である、といふのは同じ娯各書店にうづ高く積まれてその他の放れ業や水勢試験
洋塾毎日新聞社
警城新聞社
電話三三五番
佐藤神太郎
電話三三五番
高田商店(搔槌小路)
電話三三五番

諒閣中年末年始欠禮

石城銀行組合

磐城銀行 平町三丁目 電話三三三番、五四番
 磐城越前銀行 平町二丁目 電話三〇〇番
 磐城實業銀行 平町四丁目 電話二〇五番
 七十七銀行 平町二丁目 電話四一四番
 農工銀行 平町四丁目 電話三六八番
 磐城東銀行 植田町 電話三三三番
 第七十七銀行 平町四丁目 電話三一八番
 第四倉庫銀行 植田町 電話四七五番
 常磐銀行 植田町 電話六五五番

赤心堂病院 電話四七五番
 酒井森醫院 電話五五五番
 大吹醫院 電話二五八番
 矢木眼科醫院 電話二六六番
 鈴木眼科醫院 電話四三八番
 吉田眼科醫院 電話六八八番
 星眼科醫院 電話四七一番
 根本眼科醫院 電話三三三番
 金成醫院 電話三五八番
 大和田醫院 電話一七〇番
 藤沼醫院 電話五〇七番

諒閣中年末年始欠禮

福島縣石城郡內郷村

磐城炭礦株式會社 礦業所

石城郡湯本町

入山探炭株式會社 礦業所

共保生命保險代理店
 神戶海上運送火災保險代理店
 東洋海上運送火災保險代理店

柏加藤 木藤 勝正 丈利 保夫
 平白銀町 加藤營業所 電話二五五、三三三番

磐城共濟病院

院長 醫學博士 菊地 泰地
 主 事 賀 澤 忠 治
 平町十五丁目

福島縣石城郡平町五丁目廿番地

東部電力株式會社 平營業所

平銀行常任監事

木村 清 治

福島縣農工銀行頭取

白井 博 之

平町搔龜小路

江口 忠 一

福島縣平町長橋町

關內 精米所 電話一六〇番

平町研町

吉村 四 郎

常磐線平町四丁目十五番地

磐城工業商會 中村 佐 治 助 電話二一八番(電略イ)

島縣平町

吉馬 目啓 太郎 電話五四七番(電略ノ)

工榮商會

佐々木 健一 郎 平町四丁目

石城郡赤井村田町

矢野 達

石城郡赤井村

川瀨 幸 治

石城郡山田村

安島 重三 郎

平町南町

清野 清子 平看護婦會長

福島縣平町新川町

諸橋 吳 服店 電話四五十番

平町松ヶ岡公園内

尼子 亭 鐵道省指定旅館 電話二二〇番

平町三丁目

三井 吳 服店 電話三八番

諸機械商

田邊 忠藏 商店 平町白銀町十四 電話二六二番

磐城平町長橋松屋號

遠藤 松之助 和洋菓子 電話五一二番

石城郡平町四丁目

大音堂 看板店 ペンキ諸看板美術工藝部 鹽田 勝治 郎

御料理 天ぶら 越の家 平町二丁目 電話三三〇番

石城郡平町字材木町

草野 順 平

平町材木町

柏屋 染物店 阿部 傳 六

平町田町

牛御料理 石川 亭 電話四三番

磐城平驛前

宮崎 善太郎 旅館 水戸屋 (電略ミヤハミ) 電話三五六番

田町

高野 卯之吉 高野分店 電話五一五番

平町

中野 勇吉 磐城國平町研町 打綿類布團製造問屋

吉村 安次郎 電話二五七番

平町三丁目

佐川 洋服店 電話四一八番

磐城平驛前

丸市屋 旅館 電話三七一番